

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連	良くなる	商店街（代表者）	・景気が悪いという割には新入生向けの販売に前年度並みの注文があるため、これから良くなると期待している。	
		やや良くなる	商店街（代表者）	・客数が増えてきているため、あと1つの商品を買って上げてもらえるようなアプローチができれば、期待できる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エコポイントと地上デジタル対応の需要が出てくると思われる。エアコンの需要も上向いてきそうである。	
		百貨店（営業担当）	・2～3月においては、全店規模のキャンペーンがあるので、相当数の来客数が見込める。2月末は決算月であるので、総決算最終処分を行い、これからの春の展開ができる。	
		スーパー（店長）	・ここに来て降雪が思ったより良い感じで、スキー場等の観光地の状況が好転している。そちらの方面のまとめ買いが多い。3月くらいまではこれが期待できる。	
		コンビニ（経営者）	・近くのホテルとカラオケ店の開業が夕～夜間の客数増につながる。	
		衣料品専門店（販売担当）	・数か月前から比べると、客の買う意欲が見受けられる日のサイクルが短くなってきたので、これからは若干持ち直して良くなると期待している。	
		家電量販店（店長）	・エコポイントの発行が3月で終了となるため、春の異動需要と重なって上向きに消費が回復していくと予測される。	
		自動車備品販売店（経営者）	・車業界には10月から暮れにかけて、補助金の反動がきているが、3か月後にはこの悪影響が大分薄れて平準化し、例年並みになると予測できるので、良くなっていく。	
		観光型ホテル（営業担当）	・春の観光シーズンが始まり、当地周辺が舞台となる連続テレビ小説の放送開始があるので、来客数増加に多少の期待をしている。	
		通信会社（経営者）	・これまでの事業だけでは受注が落ち込む一方なので、紙媒体から電子媒体への移行も兼ね、新規事業の展開を推進している。まだ受注は少数だが、感触は良いので、ここを切り口に前向きな展開を図りたい。	
		通信会社（販売担当）	・低価格志向は変わっていないものの、スマートフォンなどの特定機種への指名買いが増えてきているので、多少上向きになってきていると感じている。	
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（店長）	・母体ショッピングセンターのテナント入れ替え等が成功しており、レジ客数、売上共に伸び続けている。来月から施設内で大型のイベント実施が控えており、さらに館内の客数が増えると予想される。併せて人気キャラクター景品の投入もしばらく続くため、当店へのファミリー客の入店機会も伸びると予想している。	
		設計事務所（所長）	・実際の業務に結び付くかは不明であるが、顧客が先行きに対して、少し明るい気配を感じてきているようである。	
		住宅販売会社（経営者）	・問い合わせ、来客も多くなり、予約件数も伸びつつある。	
		変わらない	商店街（代表者）	・買物が増えるような気配は何も見えない。安価なその場限りの品物で売行きが決まりそうである。
			一般小売店〔家電〕（経営者）	・子どもの就職が決まらず、いつまでも親の負担が軽減されない様子が多々みられる。出費が商品等の購入でなく、子どもを含めた生活費では、先行きの明るさは感じ取れないので、小売業はますます厳しい。
			一般小売店〔乳業〕（経営者）	・消費傾向が良くなる要素は全く無いが、これ以上悪くなる要素も見当たらない。
			百貨店（営業担当）	・為替相場が相変わらず円高で、株価もあまり伸びる要素がなく、またガソリン価格も上昇傾向が続いているなど、個人消費については良い要素はない。
	百貨店（販売促進担当）		・昨年夏から堅調に推移している婦人服は、今後、マザーニーズ、フレッシュアーズ等、比較的高額品への拡販に期待が持てる。	
	百貨店（販売促進担当）		・店頭の上上はやや底をついた感があるが、外商が依然苦戦している。個人客は節約疲れなどによる一時的な消費はあるが、外商の主要顧客である法人の回復がネックとなり、この先も景気の改善は見込めない。	
	スーパー（経営者）		・販売価格は上げられる状況ではない。	
	スーパー（総務担当）		・衣料品はシーズン、気温に左右される部分が多々ある。食品についてはほぼ横ばいという状況で、良くなったり落ち込んだりと今後3か月の間に大きく変化する要素は無い。	
	スーパー（総務担当）	・一部の企業では改善傾向にあると聞くが、家計収入が増えても貯蓄に回し、将来に備える傾向は今後も続く。年金、子育て等の不安材料のせいで、消費には回らない。		

スーパー（統括）	・県内製造業の不振が続いており、先行きは厳しい。消費者の収入減に対する支出抑制への対応が非常に素早くなっている。
コンビニ（経営者）	・もう一つ店に盛り上がりど活気がない。
コンビニ（店長）	・テレビ番組で紹介された商品があれば、急激に出るので、切羽詰まっている状況ではないようだが、あまり変わっていない。
コンビニ（店長）	・来客数はほぼ変わらない状況で推移するであろうが、たばこの単価が上がった分、他の商品の単価が低下しているので、経営上、厳しい状態が当分続く。店の中で高齢者がやたらと目立つようになっているので、先はますます厳しいが、何とか現状維持を期待している。
乗用車販売店（経営者）	・それほど販売量の回復が多くなる見込みがない。
乗用車販売店（従業員）	・先の見通しが不透明であるため、変わらない状況は続く。
乗用車販売店（営業担当）	・2～3か月先に売れる要素が見当たらないため、決算期にもかわらず、車は売れない。
乗用車販売店（販売担当）	・2、3か月前から排気量の多い4,000～5,000CCクラスの大型車が、中古車、新車共に売れない状況が続き、景気が良くなる要素が全く見付からない。このままの状態では販売が落ち込んで行き、最終的にはサービスだけで運営していく会社になってしまうだろう。
乗用車販売店（営業担当）	・今までのような自動車の保有台数の伸びが見込めない中、アフターサービスを含め、ユーザーへのよりきめ細かいサービスをどのようにするかが生き残っていくポイントだと感じている。
乗用車販売店（管理担当）	・消費低迷が続くなか、今の経済が急激に回復するとは思えない。
住関連専門店（仕入担当）	・大きく上向きになるとは考えにくい、日用品含め底を打った感はあり、昨年不調であった園芸を含めて期待は大きい。
住関連専門店（統括）	・将来の生活に対する不安が強く、消費に結び付いていない。
一般レストラン（経営者）	・同業者とのいろいろな交流を図っているが、これ以上先は変わらないという意見が多い。
都市型ホテル（支配人）	・中心客であるビジネスマンの動きが良くなる予想はしていない。また、周辺の企業及び出張の回数が増加してくるような様子も無い。
旅行代理店（副支店長）	・羽田空港発商品の売行きと格安航空会社関連の話題性から春先の海外旅行需要を期待したいが、昨今の政治的不安定及び先行き不安感が、消費マインドを鈍らせ、現在のところ景気浮揚が期待できない。
通信会社（総務担当）	・閉店する商店や長期の空き店舗が目立ち、個人消費の低迷が定着している。
通信会社（局長）	・転居シーズンには販売数の伸びが予測されるが、ここ数年、転居数量そのものが縮小傾向にあるので販売数の伸びについてやや心配である。
遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響は依然大きいものと予想され、今後についても楽観視はできない。
ゴルフ場（支配人）	・予約が弱い。社員、アルバイトなどの出勤調整を行っており、非常に厳しい時期を迎えている。
ゴルフ場（業務担当）	・こここのところ、衣類関係とショップの売上が前年比で少し鈍っている。プレー代についても単価の安い日に集中し、売上が伸び悩んでいる。2、3月の予約の取り込みは土日を中心に前年をやや上回っており、先行きはやや明るい兆しが見えるが、ショップ等の売上は依然低迷しているため、総体的な単価と売上が伴っていくかどうかは微妙である。
競輪場（職員）	・正月の記念競輪の売上が、前年を下回っている状況から、変わらない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・ネットカフェとアーケード、ゲームコーナーが隣接しているが、レンタルDVDは良く、ネットカフェが悪く、アーケード、ゲームコーナーが良いという、ばらばらの状況があり、傾向がつかみにくい。景気が踊り場に来ているのではないかと考えるが、もう少しこの傾向が続く。
その他サービス[清掃] (所長)	・退職、就職、卒業、入学等、記念品の購入や懇親会等があり少しは上向き要素はあるが、購入金額は控えることになり大きな変化は見込めない。
その他サービス[立体 駐車場] (従業員)	・平日定期と連日定期に移行している客が増えている。相対的に販売額は変わらないと考えられる。来客数に関しても横ばい状況で変わらない。

	設計事務所（経営者）	・3月までの仕事はあるが、その後どうなるか、まだ予想もつかない。	
	設計事務所（所長）	・いつまでか分からないが、しばらくの間は悪いままの状態が変わらない。特に、建設関連業種はこのまま下降線をたどっていく。	
	住宅販売会社（経営者）	・最近周りのムードが非常に沈滞している。土地はまだ下がるのではないかとというイメージがあるため、客がなかなか飛びついてくれない。	
	住宅販売会社（従業員）	・顧客が希望するエリアの土地を仕入れることができたので戸建住宅部門は良くなると見込んでいるが、アパートや店舗など地主の土地の有効利用を提案する部門は依然として厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・4月に隣接大型店が複合大型店として移転開店し、大変厳しい状況になる。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	・世の中の動きに良くなる傾向がまるでない。子ども手当が廃止になるのではと、ますます買い控えの傾向が出る。	
	コンビニ（経営者）	・2月下旬に近隣に競合店がオープンするため、景気がやや悪くなる。	
	高級レストラン（店長）	・中心市街地の衰退が著しい中で、3月には郊外に県内最大級の巨大ショッピングモールが開業するため、中心街は長くは持たない。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・最近、石油関連製品、食材が値上がりして来ており、景気回復機運の足を引っ張っている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・今のところ、良くなる理由がなく、地方都市では不景気な状態が続く。	
	旅行代理店（副支店長）	・不安定な為替と鳥インフルエンザ、燃油の高騰と、景気の良くなる話が無い。これから春休みにかけてどのくらいの受注があるかにもよるが、現状、前年同期比60%くらいしか受注ができていない。	
	タクシー（経営者）	・下げ止まりの状況も見受けられるが、この先もまだ悪いと思われる。	
	住宅販売会社（従業員）	・別荘などの高額な商品を求める富裕層の消費意欲が回復するには、まだ相当な時間を要する。	
	住宅販売会社（経営者）	・地方の中小零細企業ではどんどん格差が広がり、大した支援策がないので淘汰されてしまう企業が増加する気配がある。3月の決算で差がはっきりするだろう。	
悪くなる	スナック（経営者）	・地元商店街の店舗もどんどん閉めている状況で、良くなる希望がまるで持てない。	
	スナック（経営者）	・本当に良くなる要素が1つも見当たらない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・市内ではホテルが十分間に合っている状況のところ、新規ホテルがどんどん進出してきて、全体的な稼働がふさがっている状況である。また、首都圏の通勤圏内であるため、大手企業による宿泊の減少が心配なところである。	
企業動向関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・廃家電プラントの関連設備が忙しい。
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・3月の年度末に向かって注文も少しずつ入ってくるのではないかと期待している。それに合わせて工場の稼働体制を整え始めている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・トラック用部品、建設機械用部品に関して、客の増産に対応するための新規応援上げが軌道に乗る計画である。また、しばらく動きの無かった他分野の部品も確実に動きが始め、広がりが出てきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・当社は二次下請で、注文があれば作るというタイプなのだが、そこにいる注文があったということは、これから良いほうに向かっていく。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	・一部のメーカーによる欧州への甲州ワインのプロモーション活動があるものの、その影響は極一部で、全体的には低コストの輸入ワインに押され気味で推移する。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・良くなる見通しなど全く感じられない。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車部品は多少減少する予定であるが、建設機械部品は微増が続き、全体として受注量は変わらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・4月以降はまだ分からないが、現在、2、3月については久しぶりに受注が入っている。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・新年の挨拶回りでは、先行きに対する見通しは良くないと意見がほとんどを占めていた。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先と数量が結構戻ってきているので、2～3か月はこのままの状況が変わらず続く。	
	輸送業（営業担当）	・季節が変わり、新生活商品等の家電や雑貨等の商品の動きが良くなるが、まだまだデフレ経済は変わらない。また、一部の荷主からはコスト見直しによる運賃引下げの要求もあり、まだまだ厳しい状況が続く。	

	不動産業（営業担当）	・数か月で、各企業の景気が大きく良くなるという材料はまだ乏しく、少し悪い数値や何かしらの影響があれば、少し良くなって来たのが下がったりする。全体としては2～3か月後も極端に良くなるという状況はなく、平均すれば変わらない。
	新聞販売店〔広告〕 （総務担当）	・中小製造業の中には受注が順調にきているものの、価格をたたかれるので、残業をしないように時間内に収める工夫に忙しくしているところがある反面、小売、流通業の中には依然として厳しいというところも多い。新聞の求人広告は、明らかに前年や昨秋より増えていると話している。
	社会保険労務士	・3月末の資金の借り換えを心配する声があるのと、大型案件の話などを特に聞かないのとあまり変わらない。
	司法書士	・数年前と比べるとかなり落ち込んでいるため、現状では、今とそれほど変わらず、伸びもせず推移して行く。
	経営コンサルタント	・遅々としているが、製造業が持ち直し、農業と食品関係に需要面の動きが期待できる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・年度末までは、追い込みで販売量が増加すると思われる。しかし、4月以降はまた減少する不安要素もあり、何とも言えない。
やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・相場がリーマンショックと同じ水準になりつつある。当時は値上げで対応できたが、今の状況で果たして値上げがうまくいくのか分からない。ただ、原料が値を上げているのに同じ単価では赤字になるので、商品力を高め、多少高くても納得感が出るように努めていくのが大事である。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係からの見積等が例年より少ないので、3～4月あたりが厳しくなると予想している。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今後3か月間の見通しは、受注量は前年比10%と増えるが、販売額にすると前年比横ばいもしくは減少という、収益が上げづらい状況になってきている。増収減益もしくは前年比では減収減益の状況が予想される。
	金融業（調査担当）	・全体的にやや下降気味の傾向が続く。
	金融業（役員）	・当地域では、自動車部品関連の製造業が数多くあるが、各社共、今後3か月間の受注見通しが、前年同月比で約20%近く減少すると伝えられている。
	不動産業（管理担当）	・ビルテナントの空室への入居の話があまりなく、年度更新の賃料も引き下げてほしいという話が少し出始めている。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・価格競争によって、価格の低下が進んでいる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・来年度の製品や見積の話がここに来てまるでなく、すべての商品に関して先細りが懸念される。また、取引先の廃業による連鎖倒産の可能性もあり、厳しい状況に置かれている。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・顧客の仕入意欲は少ない。展示会においても春先を見据えた品ぞろえのためのオーダーというより、現物のみの購入で目先の変化で当座をしのぐ傾向にある。
	建設業（総務担当）	・前年並みの受注確保は出来たが、今期は工期の長い土木工事が多いので、資金繰りが心配である。国の前払金制度もフル活用して対処しているところである。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者） ・自動車関連等と携帯関連の電子電機関係は順調に伸びていき、募集もそれに伴って継続的にいくものと思われる。新年度に向けて、サービス部門、学校、学習関係、といった教育関連が少しずつ伸びていくと見受けられる。住宅関連の製造加工はまだ暫定的であるが、幾分例年並みに戻る。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・これから忙しそう感じがするが、まだ仕事が安定していない感じで、引き取りの話も出てくるのではないかと心配している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・これから春に向けて多少は求人が増えてくる時期であるが、求人誌など広告費を使って募集する企業は少ない。
	職業安定所（職員）	・新規求職者数の動きに落ち着きが現れて来ているが、求人を担う企業側の募集、採用意欲が依然薄いことから、状況の好転はまだ期待できない。
	職業安定所（職員）	・事業所訪問をしている職員に確認したところ、今後の見通しが不透明で求人が出せない、という事業所が多い。
	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の活用状況は、活用日数と活用人数は減少傾向にあるものの、活用企業数は同程度となっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	・大手企業の求人が大変少なく、受注増が見込めても、現行社員への負荷で賄い、有効求人倍率に好転の兆しが無い。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・来年度の求人が届く時期ではあるが、昨年同様、来年度の求人はほとんどない。この時期の専門学校1年生は、まだ就職活動をする時期ではないので求人が大学等に流れていると思われるが、それにしても求人はない。企業側は人数、職種、学歴など、求人を絞っている。

やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・取引先である製造業の生産計画発表が無く、先行きが見えない。
悪くなる		